

PRノットやGノットが3分で組める ラインシステム作製小物

中村 幸春

船上で素早くPRノットを組むための小物を作った。PRノットは、重ねたPE道系とリーダーにPE本線をクルクルと巻き付けていくラインシステム。かなりの強度があり、比較的簡単なので初心者にもお薦めだ。

しかし、これを船上で組むとなると勝手が違う。道系とリーダーを張っておく必要がある。風の強いときに一人で組むのは難しい。特にPE道系が細いほど苦労する。

そこで、風の強い日に一人でPRノットを簡単に組む方法はないかと考えた末、思い付いたのがこの便利小物だ。



PRノットやGノットが簡単に出来るラインシステム作製小物(右)。小田原オモリ18号で作っているのはFGノット用

ナスオモリ0.8号にサルカン付きハリス止めを接続しただけのものなので、1個作るのに1分もかからない。使い方も簡単。竿にリーダーをセットしてトップガイドから垂らした道系にオモリを装着してピンと張る。その道系に下からリーダーをあてがいオモリに横方向の力を強く加えれば、オモリの遠心力でクルクルと巻き付いていく。30回ほど巻いたら、竿を寝かせて下から上へ道系を張り、

先の編み込みに重ねて逆方向へ巻き付けていく。最後にPE支線の本線に結べば完成だ。強度があり見栄えの良いラインシステムが3分ほどで出来る。リーダーを二重にしてPEを巻き付けるGノットも、3分足らずで組める。

FGノット用に小田原オモリ18号を使ったタイプも作った。PEにセットして道系を張っておけば、リーダーの編み込み作業がスムーズに行えるので重宝している。

材料

ナスオモリ0.8号1個、小田原オモリ18号1個、スプリットリンク(ライトクラス20号用)2個、タル型ハリス止め16号2個。

道具

スプリットリンク・プライヤー。

作り方

スプリットリンク・プライヤーでスプリットリンクを開き、ハリス止めのサルカン部の環とオモリの環に通す。

